

第593号

主な記事

- ・ 県歯科医師会と懇談 (1面)
- ・ 審査に関するアンケート (1面)
- ・ 骨粗鬆症セミナー (2面)
- ・ 食糧食と健康④ (2面)
- ・ 盛岡市歯科医師会と懇談 (3面)
- ・ 個別指導の指摘事項について (3面)
- ・ 寄稿サブリメントについて知っておくべきこと (4面)



岩手県保険医新聞

発行所

岩手県保険医協会

〒020-0034
 盛岡市盛岡駅前通15-19
 TEL 019-651-7341(代)
 FAX 019-651-7374
 発行人 小山田 榮二
<https://www.i-hoken-i.org>
 購読料 年2,400円(〒別)
 会員の購読料は会費に含まれています。

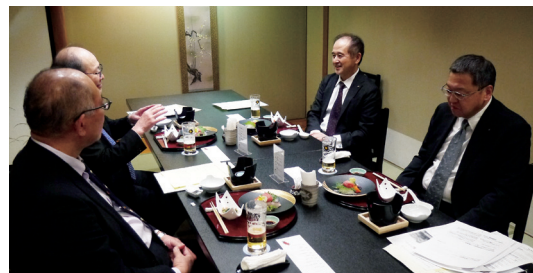
共により良い歯科医療を目指して

一般社団法人岩手県歯科医師会と懇談

12月22日、アートホテル盛岡で一般社団法人岩手県歯科医師会(以下、県歯)と6年ぶりに懇談しました。県歯からは大黒英貴会長、和田武彦専務理事が、当会からは小山田榮二会長、米持武美

副会長・歯科部会長、事務局が出席しました。両会長のあいさつから始まり、資料説明と懇談を行いました。県歯からは、診療報酬改定の本体が報道のとおりプラス3.09%となったことと

現在の議論の到達点、歯科医師会・医師会・薬剤師会・看護協会が政治連盟を経由し、鈴木俊一衆議院議員に対して、2026年1月に共同で要望を行う予定であることが報告されました。



懇談のようす

当会からは、一般社団法人熊本市医師会作成の

当会は、医科の開業医会員(289名)を対象に、9月末から10月上旬にかけて、審査に関するアンケートを行いました(回答率26.6%(77名))。1年間の審査の満足度は、社保も国保も「どちら

らとも言えない」「少し不満」「大いに不満」の合計が57.1%で、社保の「大いに不満」が10.3%と、国保の7.8%よりも高くなりました。「不満」の理由は「審査基準の不明確さ」と「医学的判断・見解の相違」が挙げられました(図1)。

な回答を求める声が多く寄せられました。

審査の透明化を求める声が多数

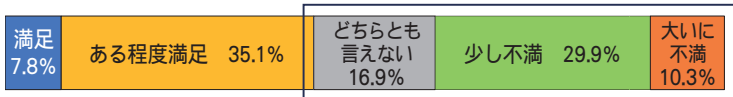
医科：審査に関するアンケート

「同じ事例でも社保と国保で判断の違いがあるので統一してほしい」、「複数月まとめて減点されると大変」、「納得のいく理由を示してほしい」、「改善対応のため、なるべく早く減点理由を教えてください」などの意見が寄せられ、具体的な返戻・減点理由の記載や、迅速

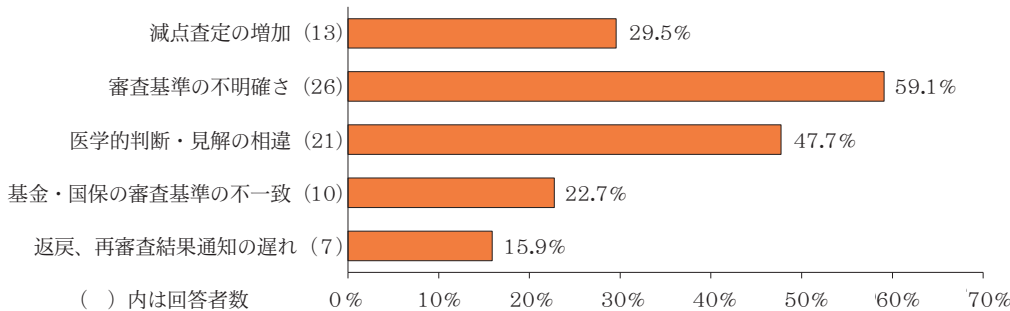
図1

(1) この1年間の審査に対する満足度

〔社保〕



(2) 不満の場合、その理由(複数回答)



12月11日、「査定・返戻・算定漏れゼロ」押さえておきたい点数表のツボ、個別指導も見据えて」と題し、審査指導対策セミナー第1弾を開催しました。セミナーはオンライン形式で行われ、保団連事務局主査の山田祐也氏が、間違いやすい点数や算定漏れが多い項目を例を挙げて詳しく説明しました。

山田氏は、保険者からの再審査請求の圧力が増しており、コンピュータ強化されているとし、AIでレセプトが振り分けられると、査定・返戻率が高い医療機関は目視確認の対象となる可能性が高くなると述べました。再審査請求について

「医療現場の切実な経営状況を伝えるポスター」や、この間の活動資料を紹介しました。2026年度診療報酬改定に向けた保団連要求について資料説明も行い、当会の活動への理解と協力を求めました。

その後懇親となり、金パラ逆ザヤ問題や審査の現状、歯科技工士・歯科衛生士問題、歯科技工士・歯科衛生士の養成学校の状態のほか、宮城県での「地域医療介護総合確保基金」を活用した独自の歯科技工士の修学支援制度など、歯科医療を取り巻く情勢や課題について和やかに意見交換をしました。

「西洋の敗北」は発表以来25カ国で翻訳出版。元々仏語だが、何故か英語に翻訳された。意味するものは？

1997年25歳の時、「最後の転落」ソ連崩壊を初出版。正常な国を見る指標として、「乳児死亡率」を殺人率、「自殺率」を用い、ソ連崩壊を予言した。

日本は西洋なのか？自由と平等はどこからきたのか、そして今は何？

民主主義も沢山の形がある。時代の答えが明らかになるのはこれから。GDPは幻。本当のRDF(トップド氏による国民総生産)を誤読する。フェイクという霧の中。現実に戻ると、デジタル魔法の杖では無いことは自明。自分に染みついてしまった西洋なるものが敗北したと判つたとき、私達は何を見つめていたのだろうか。(東山)

【鍼のひびき】日本は「直系家族」と分類される。長男は親に残る。親は子供に対して権威的であり、兄弟は不平等。基本的価値は権威と不平等。子供の教育は熱心。秩序と安定を好み、政権交代が少ない。キャッチアップが得意とされる。

根拠ある再審査請求は積極的に

医科審査セミナー

「西洋の敗北」2024
 「西洋の敗北と日本の選択」2025
 「ソッド人類史入門 西洋の没落」2023
 著者(エマニュエル・トッド)はこう言う。
 「今必要なことは自らに『考える時間』を与えること。時間を自分のものとし、振り回らないと、時間泥棒に全ての方向性を奪われてしまふ。与えられているストリートの来歴は何かをじっくりと考へたい。生産性とは何か？利益とは何か？エリートとは何か？暴力装置とは何か？方向性を失った人の人生に、『むげな争い』が意味を与えかねない。とトッドは警告する。

1992年にトッドは初めて来日した。日本人の立ち居振る舞いに恋した彼は、以来20回以上来日している。世界を動きを日本に居る事で、「日本から見る」という視座での豊かさを得たと言おう。

「西洋の敗北」は発表以来25カ国で翻訳出版。元々仏語だが、何故か英語に翻訳された。意味するものは？

1997年25歳の時、「最後の転落」ソ連崩壊を初出版。正常な国を見る指標として、「乳児死亡率」を殺人率、「自殺率」を用い、ソ連崩壊を予言した。

日本は西洋なのか？自由と平等はどこからきたのか、そして今は何？

民主主義も沢山の形がある。時代の答えが明らかになるのはこれから。GDPは幻。本当のRDF(トップド氏による国民総生産)を誤読する。フェイクという霧の中。現実に戻ると、デジタル魔法の杖では無いことは自明。自分に染みついてしまった西洋なるものが敗北したと判つたとき、私達は何を見つめていたのだろうか。(東山)



開業も承継も事前の準備と確認が大切

「医院経営セミナー」

11月30日、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）で、医院経営セミナーを行いました。ウエブ併用で、第1部の「クリニックの開業・承継・成功のポイント」は智創税理士法人盛岡事務所の榎山直孝税理士が、第2部の「医療DXの進化とクリニックに求められる対応」はウィーメックス株式会社サビース本部の中島啓氏が講師を担当しました。

第1部では、榎山税理士が銀行融資や労務管理について解説。開業の際はスタートダッシュが重要だとし、患者は院長の顔が見えると安心すること、医院のホームページは導入機器のアップルより院内の雰囲気分かる構成にすると効果があると説明しました。

労務管理では就業規則をしっかりと定めることが武器になり、各種手当より基本給を上げると求人目にとまりやすいと説明。面接では子どもの年齢などを聞いてミスマッチを防ぐことが重要だとしました。

承継については、親子間の継承でも診療方針を話し合い、設備投資計画を行っておくことが重要とし、事前の準備と確認が必要と説明。

個人開業医の場合、テナント開業の契約条件やカルテの引き継ぎは、個人情報保護などに留意しなければならぬとしました。

第2部では、中島氏がオンライン資格確認や電子処方箋など、医療DX

を取り巻く情勢を説明しました。

国は2030年までに電子カルテの導入率を100%とするため標準型電子カルテを準備しているが、未知数な部分が多いと解説。既存の電子カルテは、最低限の機能のみで低コストのものから、様々な診療支援機能を搭載したものであり、費用・機能などの総合力のほか、導入後のサポート体制を確認しておくことも重要としました。

医科歯科だけでなく多職種での連携が必須

骨粗鬆症診療アップデート

12月3日「骨粗鬆症診療アップデート」医療連携にも触れて」と題したウエブセミナーを、アステラス製薬(株)、アムジェン(株)との共催で開催しました。

保団連研究会交流サイトにも案内を掲載し、他県からも多くの申込みがあり、当日は108名が参加しました。

青森労災病院整形外科の岩崎弘英先生が講師を、けやき整形外科クリニック院長の奥田聡先生が座長を務めました。

ビスホスホネート（BP製剤）は、作用機序、顎骨壊死（MRONJ）や非定型骨折などのリスク、休薬後の効果残存期間が薬剤により異なること説明。岩崎先生は10年ぶりに改訂されたガイドラインの内容に触れつつ、実際に治療で使っている薬の使い方を解説しました。

MRONJ発症時に治療効果を期待する「治療的休薬」について、ビスホスホネート製剤は休薬しても急激な薬理効果減弱がないため休薬は選択肢となり得るが、デノスマブは休薬後、急激に骨密度が低下するため休薬は推奨されないとしました。

連載

食と健康

◎食の安全⑭

私たちの食べているものは安全かー 水田・稲作を破滅に導く高市政権 米の需給と価格の安定への責任を放棄

農民運動全国連合会「農民連」 新聞「農民」編集長 勝 又 真 史



県に請願書を手渡す、いわて食・農ネットの参加者

2023年産米不足から始まった米の価格高騰で、現在の米の販売価格は、一応高水準を維持しています。しかし、市場に目を向けると、昨年の60万トの政府備蓄米放出と20万ト近くに急増した輸入米で供給量が増えた結果、24年産米在庫が増加し、生産量も前年比66万ト増の748万トとなり、過剰感を抱えています。

米価大暴落に農家は不安

さらに、販売価格が高いので米の消費も少し減り始めています。このまま減っていくと本当に大暴落になり、農家は不安にかられています。米価が暴落すれば、もう作らないという農家が一気に広がります。米農家は2000年の175万戸から24年には53万戸にまで

激減し、農家の6割近くが70歳以上です。「令和の米騒動」は、コロナ禍で米の消費が減り、20万ト余って価格が大暴落し、それを政府が「米が今後も余るから生産を減らせ」と、21年、22年に大減産を押し付けたことで、結局50万トもの米不足を招いたことが原因です。加えて、小規模農家の離農が進み、作り手が圧倒的に不足したことです。

米農家に責任を押しつける「需要に応じた生産」

これを高市政権は「需要に応じた生産」の名で農家に生産の責任を押しつけることで乗り切ろうとしています。

「改正」食糧法が次期通常国会に提出される予定で、米の「生産数量目標の配分」という文言が廃止され、「需要に応じた生産」が法定化されることで、米の需給と価格の安定に責任をもつという国の役割をさらに後退させるものです。

どうなる26年産米

26年の米の展望ですが、政府備蓄米をみると、政府は、26年産米の買い入れを21万ト行うと発表しています。しかし、在庫は11月になり、その間、備蓄米は事実上空っぽの状態です。その分を民間が備蓄しているものを

活用しようという方針です。さらに、国産米の備蓄を減らした分を、増え続けている輸入米をさらに増やして、備蓄米として活用する方針です。国民には今以上に外来を食わせようというのです。

備蓄制度が機能しなくなったうえに、今年、不作だったら、たちどころに米不足になり、米騒動の再来になりかねません。逆に生産数量目標より少しでも過剰だったら、米価の下落が進行し、生産者にとっては大きな打撃です。

米農家に所得補償と価格保障を

米を作り続けるには、農家に生産費の不足を補う所得補償をすること。しかし、60キログラムを1万円

で買ったたかれたら、農家は所得補償があっても続けられません。2万円を割ったら差額は国が補てんする価格保障をすることです。これらは消費者にとっても、買い続けられる価格を維持することにつながります。

岩手県保険医協会も参加する「いわて食・農・トワーク」（いわて食・農ネット）は昨年7月、県議会に「お米を守る請願」を提出し、この請願に基づいた「米の安定供給体制の確立と農業基盤強化に向けた施策の推進を求める意見書」が本会議で全会一致で可決されました。県議会レベルの意見書の可決は全国で初めてでした。



講師：岩崎先生（青森労災病院整形外科） 座長：奥田先生（けやき整形外科クリニック）

セミナーには108名が参加

岩崎先生は、介護の原因となる骨折について、初回骨折後の二次骨折は大腿骨近位で起きやすく、1年以内に再骨折することが多いと説明。骨粗鬆症治療が行われているのは2〜3割だが、治療しないと再骨折のリスクは5・3倍になるため治療は必須だと述べました。

参加者からは「骨粗鬆症の治療法の変化をアップデートしてきた。改めて口腔衛生管理の重要性を確認した」「医科で使われている薬が確認できて勉強になった」などの感想が寄せられました。

より良い歯科医療を目指し意見交換

一般社団法人盛岡市歯科医師会と懇談

12月11日、当会是一般社団法人盛岡市歯科医師会（以下、盛歯）と2年ぶりに懇談を行いました。当会からは小山田榮二会長、黒田康之、米持武美両副会長、事務局が出席し、盛歯からは村上克利会長、藤澤毅、熊谷哲也両副会長、大久保卓也専務理事が出席しました。

両会長のあいさつの後、盛歯からは盛岡市に提出した「令和7年度盛岡市歯科医師会からの要望」について説明があり、成人歯科健診が節目健診に移行するため、盛岡市保健所企画総務課と打ち合わせを重ね「80歳までを健診対象者にし、20歳は無料とする」案を第1希望として要望したと報告がありました。



資料を渡し情報を共有

さらにシーラント事業の廃止を受け、「2歳児健診にフッ素塗布券を4枚添付」、「4、5歳児健診にフッ素塗布券を2枚添付」（いずれも健診時

と3カ月毎に1回フッ素塗布）を第1希望として要望したと説明がありました。当会からは小山田会長より歯科技工士問題・歯科技工所アンケートについての記者会見資料や歯科衛生士による浸潤麻酔行為に関する歯科衛生士の業務範囲、2026年度診療報酬改定に向けた保団連要求について資料説明を行いました。

その後は懇親会を行い、両会の資料への質疑や診療報酬改定、OTC類似薬問題などについて意見交換を行いました。

11月16日に東京の保団連会議室で全国地域医療交流集会が行われ、42名が参加。当会からは事務局が出席しました。石川協会は能登半島地震医療費窓口負担免除について、千葉協会は訪問車両の駐車問題について報告しました。

千葉協会では駐車禁止除外車両の対象を広げる活動を90年代から継続し、2017年の千葉県

午後には産科医療について、保団連理事の細部千晴氏と日本産婦人科医学会長の石渡勇氏、東京都看護協会副会長の砥石和子氏、国立成育医療研究センター周産期歯科診療部長の齋藤亮氏でパネル

少子化対策のためにも 助成制度の拡充と 分娩施設への経済支援を

全国地域医療交流集会

道路交通法細則改正による対象拡大、2025年の「エリア許可」新設による負担軽減により大分申請が緩和されたとなりました。

石渡氏は、経営の厳しさから事業取りやめを考える産科診療所も多いと説明。出産場所の形態は地域によって違いがあり、出産費用の保険導入はさらなる分娩施設の撤退を招くため反対と述

べ、分娩施設への早急な経済支援と出産一時金のさらなる増額を訴えました。砥石氏は、分娩後のサポート不足を指摘しました。助産師の役割は家族支援が中心であり、医師や行政との連携が必要と説明。助産師が本来の業務に専念でき、助産院マ

ツプ活用などで直接連絡が取れる環境が求められるとしました。齋藤氏は、妊婦の歯科健診受診率の低さを指摘。X線や麻酔の影響を心配する傾向があると

し、歯科治療への偏見と無理解の解消、産科医療機関との連携が課題となりました。

労基署からの急な呼び出し！どうする！？

労基署からの就業規則や有給休暇の管理状況などについて通知が届き、聞き取り調査が全国的に増えています。このような状況は、2年前頃から続いており、各地で調査が実施されています。

<対応方法> ※ 一般的な対応の参考としてください

- ・ 労基署からの呼び出し調査は、毎年行われている定期調査の可能性が高い。
- ・ ただし、医療機関に対する調査が多数入っている場合は、県内の医療機関にターゲットを絞って調査をしている可能性もある。
- ・ 調査拒否をすると医療機関での調査に移行される可能性もあるため、対応は行うようにする。日程は労基署が指定してくるが、日程変更は可能なので、自院の状況に合わせて調整をする。
- ・ 調査に持参を求められているものを現状で作成していない場合は、即時対応を。例えば、36協定がない、有休の管理をしていないなどがあれば、36協定を出す、有休の管理簿などを作成し、対応する。

指摘事項について

昨年開示請求した新規個別指導、個別指導の指摘事項（2024年）の一部をお知らせします。

医 科 一医学管理一

<特定疾患療養管理料>

①治療計画に基づく、服薬、運動、栄養等の療養上の管理内容の要点について診療録への記載が不十分である。

自主返還を求められた事項

②算定対象外である主病について算定している。

<乳幼児育児栄養指導料>

①指導の要点について診療録への記載が不十分である。

自主返還を求められた事項

②指導の要点について診療録への記載がない。

<悪性腫瘍特異物質治療管理料>

治療計画の要点について診療録への記載がない。

歯 科 一医学管理一

<歯科疾患管理料>

①長期管理加算を初めて算定する場合に、診療録に記載すべき内容について、患者の治療経過および口腔の状態を踏まえた今後の口腔管理に当たって特に留意すべき事項の要点の記載が不十分な例があったので、個々の症例に応じて適切に記載すること。

自主返還を求められた事項

②長期管理加算を初めて算定する場合に、患者の治療経過および口腔の状態を踏まえた今後の口腔管理に当たって特に留意すべき事項について、その要点を診療録に記載していない。

新理事紹介

趣味

犬との散歩

好きな食べ物

シドケ

好きなスポーツ

ゴルフ、カーリング、剣道（お休み中）

最近関心を持っていること

やりたい放題どうしようもない 外国人対策、熊

座右の銘

忠実自彊

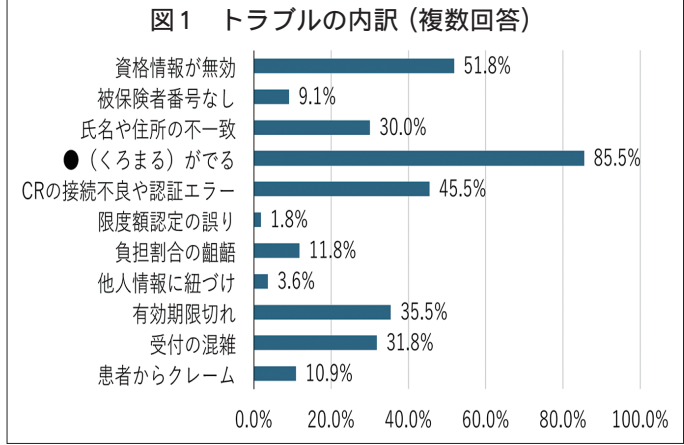


宮田歯科医院（盛岡）
（開業年数：30年）

宮田 右京 先生
（常任理事）

保険証の期限切れる4月トラブル増加を懸念

マイナ保険証実態調査



当会では、FAX登録会員(550名)に対し、5回目のマイナ保険証トラブル調査を行い、154件の回答がありました(回答率28%)。12月号に引き続き、アンケート結果をお知らせします。7割を超える医療機関がマイナ保険証のトラブルを経験し、内訳は「●」が最多となっています(図1)。トラブルを経験した医療機関のうち31.8%の医療機関が「受付の混雑」、10.9%が「患者からのクレーム」を挙げています。「資格情報のお知らせの重要性が分からず紛失する方も多い」、「窓口でマイナンバーカードを出せばいいと思っている人が多い」などの声も寄せられ、健康保険証が使えなくなる4月以降も、周知

不足によるトラブルの増加が懸念されます。「資格情報の確認当時の負担割合が数カ月前にさかのぼって変更されていた」事例も寄せられました。厚労省は資格確認がうまくいかない場合、不詳レセプトで請求ができる」と通知していますが、不詳レセプトを作成しても返戻されるケースがあり、アンケートでも返戻された事例が6件ありました。健康保険証を利用できるのは3月31日までとなっているため、4月以降、さらなるトラブル増加が懸念されます。

寄稿

サプリメントについて知っておくべきこと

国立医薬品食品衛生研究所
客員研究員 畝山 智香子

後編

通院中の人は特に注意

いわゆる健康食品は、病気の治療目的ではないため、対象となるのは基本的に健康な人です。機能的表示食品は、事業者が届け出をして機能を表示して販売しているものですが、病気の人が使用したらどうなるのか、あ

るいは医薬品との相互作用などは調べて届け出る必要はありません。医薬品を使用している人は健康食品を使用しないことが前提になっているからです。

ところが実際には医師に相談せずに、医療用医薬品とサプリメントを併用している人が相当いることが分かっています。

絶対に手を出してはいけないサプリメント

サプリメントの中には、食品として販売されているものの中味は違法薬物という極めて危険なものがあります。医薬品以外で口に入るものは全て食品に分類されるた

当人の病気の治療の妨げになるだけではなく、本当はサプリメントの影響などに医薬品の副作用として報告されて使用制限などにつながる、その薬を使っている他の患者さんにまで不利益を与える可能性もあります。

め、医薬品としては販売できないものが「食品(サプリメント)」とされて売られることがあるのです。インターネットの個人輸入、近年ではSNSなどを介して個人間で取引されている、痩せる、精力増強、筋肉増強を宣伝している「サプリメント」からは高い確率で禁止薬物が検出されています。死亡を含む重篤な健康被害が日本を含む世界中で報告されています。「食べて痩せる」などという食品はありません。(前編・参考文献は12月号に掲載)

味処

292

森のそば屋

葛巻町



かけそばとざるそばを味わえる「水車そば」(写真はざるそばのみ)

葛巻町の市街地を抜け、袖山高原牧場へ向か

う道に進むと、自然の中に風情ある水車小屋が見えてきます。森のそば屋では、水車で挽いた手打ちの十割そばをいただくことができます。人気メニューの「水車そば」(1400円)に、天ぷら(200円)をトッピングしました。他にも大盛り、山菜、とろろ、おろしをいずれも200円で注文できます。水車そばと森のそば膳(2050円)はざるそばとかけそばの両方を堪能でき、水車そばには日替わりの小鉢、ミニご飯、漬け物が付きます。森のそば膳には、魚(ヤマメ)も付くため、ボリューム満点です。

ざるそばは香りが口いっぱいになり、コシがあつて手が止まらなくなるおいしさ。器にたっぷり入ったかけそばは、そばとつゆの組み合わせが病みつきになります。ざるそばがなくなつた後にミニご飯とかけそば、薬味が来るので、そばやご飯が冷める心配もありません。葛巻産のもちきびが入ったミニご飯はふつくらとして甘みがあり、こちらも絶品。もちきびは店内で買うこともできます。水車そばは、ざるそばもかけそばもどちらも食べたい!という声からできたメニューとのこと。どちらもおいしく、迷う理由も食べれば分かります。そば好きにはたまらないお店です。

| | |
|------|--------------|
| 住所 | 岩手郡葛巻町江刈1-36 |
| 電話番号 | 01951664111 |
| 営業時間 | 10時30分~15時 |
| 定休日 | なし |
| 駐車場 | 15台 |

参加無料 イベントのご案内

「糖尿病と歯周病(歯科疾患)の関連と医科歯科連携」(仮題)

講師:石垣 泰 先生
(岩手医大内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授)

2026年3月3日(火)
19:00~20:30
会場:アイーナ 会議室501 (岩手県民情報交流センター)
定員:60名(先着)

案内チラシを同封しております。会員の先生は無料で参加いただけますのでぜひご参加ください。

理事会だより 12月

【日時】2025年12月23日(火) 19:30~21:07

【場所】フコク生命ビル会議室 ウェブ併用

【出席者】役員、事務局併せて17名

主な決定事項

- 2025年11月期活動報告並びに2025年12月期活動計画について承認された
- 保団連定期大会の対応について承認された
- 東北ブロック会議の出席者について承認された
- 医療機関への財政措置に関する県・国への要望について承認された

常任理事会だより 11月

【日時】2025年11月18日(火) 19:30~21:14

【場所】フコク生命ビル会議室 ウェブ併用

【出席者】役員、事務局併せて13名

主な決定事項

- 2025年10月期活動報告並びに2025年11月期活動計画について承認された
- 共済普及月間会員紹介Q&Aカード対象者が承認された
- 保団連代議員について承認された
- 2026年度医科歯科診療報酬改定作業への事務局員派遣について承認された
- PFAオンライン講演会のチラシを会員に案内することが承認された